

## 小手鞠るい氏 備前での思い出

今日の備前市が発足する前、まだ「和気郡備前町」だった頃に生まれた私は、当時「開ヶ丘」と呼ばれていた公団住宅街で育ち、5年生を終了するまで、伊部小学校に通っていました。開ヶ丘から小学校までは約4キロの道のり。毎日、歩いて通学していたので、足が鍛えられたのだと思います。

現在の趣味は山歩きで、住んでいるのはニューヨーク州の森の中。これもまた、備前時代に野山に親しんでいたせいです。私の書く小説にも童話にも、必ず出てくるのが野山と森と動物たち。子ども時代を備前で過ごしたことが人生観や作品に与えてくれた影響は、計り知れないほど大きいようです。

幼い頃に預かってもらっていた祖母の家（国道沿いの農家）で、祖母は毎日のように、絵本を読んで聞かせてくれていたらしくて「あんたが小説家になれたのは、おばあちゃんのおかげじゃ」と、母はいつも言っていました。これは紛う方なき真実であったと、遠いアメリカで実感しながら、きょうも作品を書いています。